

HPの掲載場所：

秋田大学環境安全センター | 廃液処理

<http://www.gipc.akita-u.ac.jp/~anzenctr/waste%20top.html>

廃液の出し方

R6.2.26

令和5年度第2回

環境安全センター運営会議

会議資料

参考資料1



廃液処理のため、次の手順を徹底下さい。



(注)文中の朱文字は変更部分です。

(※) 手順や様式記入の仔細は、上記HP掲載の「よくある質問」にも記載しております

容器の表示

- ・ 廃液の貯留には、10・20ℓのポリ容器を使用して下さい（**容器は環境安全センターで手配します**）
- ・ 下記項目に従って対応して下さい。

(A) 全容器の持ち手に**区分**ごとのビニールテープを貼って下さい。

(注) 廃液の区分と種類の対応は分別収集区分表を参照下さい。

区分	A	B, C	D, E, F	G	H, I	J, K
テープの色	緑	黒	赤	黄	青	白

(B) 全容器の側面に表示札を貼って下さい。（2箇所以上で固定）

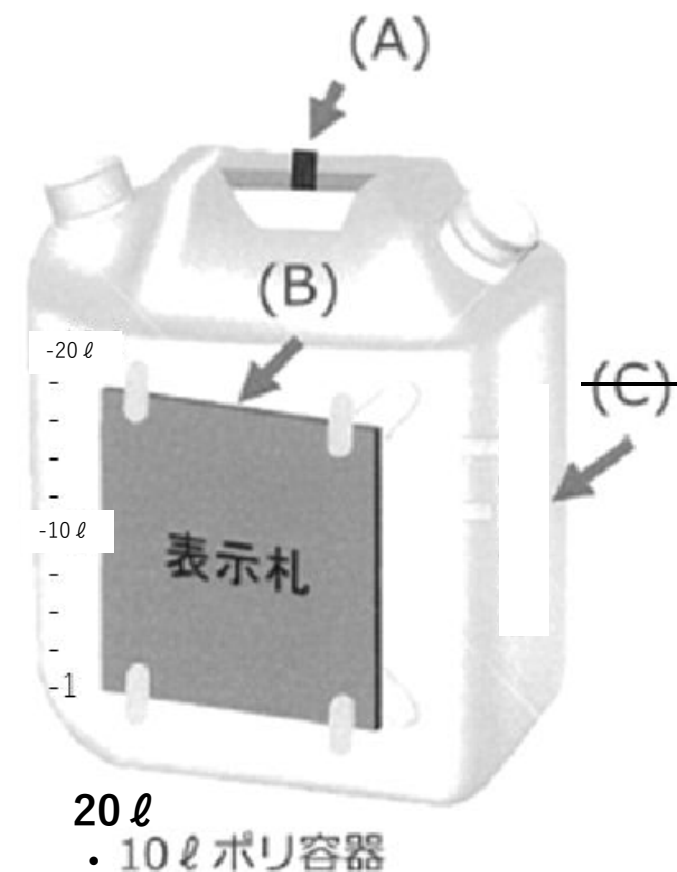
表示札には廃液の内容を詳しく記入して下さい。

また、表示札に、ポリ容器へ保管した排出量

（及び各固形廃棄物の重量）を忘れずに記入して下さい。

(お願い)

経費節減のため廃液は缶の半分以上まで入れてから排出するよう、ご協力をお願いします。



注) 表示札は2部印刷し、1部は容器に貼り、他の1部は回収場所に持参下さい。

分別収集区分表－1（無機）

物質	区分	色 テープ	種類	対象
無機	A	緑	水銀系廃液（原点処理を含む）	無機水銀系廃液
				有機水銀系廃液（分解処理をしておくこと）
	B	黒	シアン系廃液（原点処理を原則とする）	遊離シアン系廃液
				難分解性シアン錯体系廃液
	C	黒	フッ素・リン酸系廃液（原点処理を原則とする）	無機フッ素系廃液
				リン酸系廃液（有機リンを除く）
				水酸化カルシウム系廃液
	D	赤	酸及びクロム混酸廃液	無機酸廃液
				クロム酸-硫酸混液（3価クロムを除く）
				クロム酸-リン酸混液
	E	赤	重金属系廃液	Fe, Ni, Co, Zn, Cu, Cd, Pb, As, Cr, Sn, Ga, Ge, V, Ti等の重金属廃液
				Al, Mg等の金属廃液
	F	赤	アルカリ系廃液	水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム等の廃液（水酸化カルシウム、水酸化マグネシウム等を除く）
	G	黄	写真定着廃液	写真定着廃液（現像・停止廃液を除く）

分別収集区分表－ 2 （有機）

物質	区分	色 テープ	種類	対象
有機	H	青	可燃性廃溶剤 (水を含まないもの)	脂肪族化合物系廃液
				芳香族化合物系廃液
				含窒化合物系廃液
	I	青	廃油 (水を含まないもの)	1. 灯油、軽油、モーター油、ギヤー油、タービン油等の廃油
				2. 動植物油類の廃油
	J	白	ハロゲン系廃溶剤 (水を含まないもの)	脂肪族ハロゲン系廃液
				芳香族ハロゲン系廃液
	K	白	難燃性有機廃液 (水を含むもの)	可燃性廃溶剤、ハロゲン系廃溶剤、有機酸、アミン類等を5%以上含む水混合廃液
				含硫黄有機化合物系廃液
				ホルマリン廃液
				有機シアン系廃液
				写真現像・停止廃液
				有機金属系廃液及びキレート剤を多量に含有する無機廃液
難分解性シアン錯体廃液の処理水				
その他有機化合物の水溶液廃液				

分別収集区分表－3（有害固形廃棄物）

物質	区分	種類	対象
有害固形廃棄物	L-1	水銀系	1. 有機水銀系消毒剤等有害物質の付着したろ紙、ろ布、紙くず、ガラスくず、廃プラスチック等 2. 原点処理、貯蔵等の結果生じた沈殿物、残渣、汚泥、吸着剤等
	L-2	シアン系	
	L-3	フッ素・リン酸系	
	L-4	重金属系	
	L-5	有機系	
	L-6	その他	

廃液等を排出する時の注意

- ・ 廃液回収日は、回収予定表をご確認下さい。
- ・ 廃液排出者は、引渡伝票に必要事項を記入の上、回収場所に持参して下さい。

- 1) 引渡伝票（様式2）は回収場所に2部持参します。
- 2) 1部は伝票の控えて、廃液排出者が保管します。
- 3) もう1部は引渡伝票で、センター担当に渡します。
- 4) ブロック番号は、回収場所配置図をご参照下さい。
- 5) 各廃液別ポリ容器の個数と各廃液別ポリ容器の廃液排出量（及び各固形廃棄物の重量）の合計を忘れずに記入して下さい。
- 6) 試薬は回収しません。廃液等の分別集計区分や廃棄方法等について不明な場合、センター担当に問い合わせして下さい。

回収予定表のURL

<https://www.gipc.akita-u.ac.jp/~anzenctr/WasteLiquidCollectionSchedule2024.pdf>

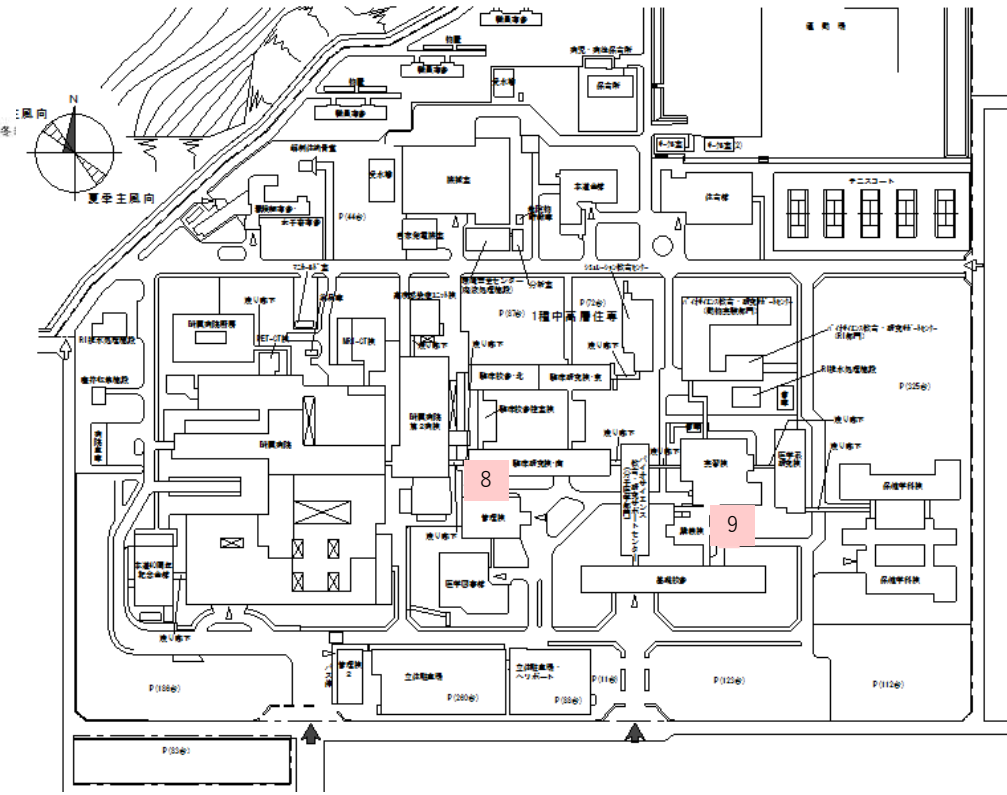
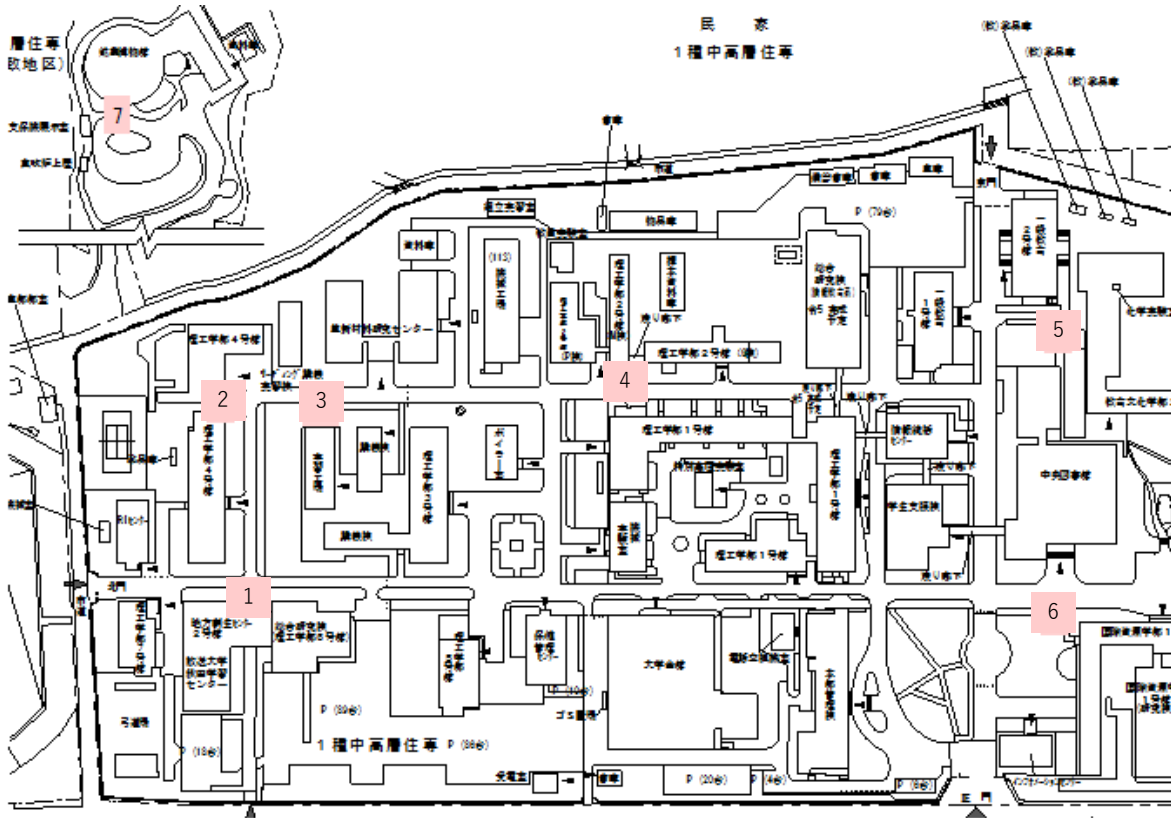
別紙様式第2号 廃液等引渡伝票

ブロック番号	研究費管理番号	引渡年月日	年	月	日
研究費等名	TEL				
責任者職・氏名					
廃液等分別集計区分	備 考	個数	排出量	センター処理状況	
A 水 系 廃 液		個	L		
B シ ア ン 系 廃 液		個	L		
C フッ素・リン系廃液		個	L		
D 酸及びクロム系廃液		個	L		
E 重 金 属 系 廃 液		個	L		
F アルカリ系廃液		個	L		
G 有機溶剤系廃液		個	L		
H 可燃性廃液		個	L		
I 固 形 廃 棄 物		個	L		
J ハロゲン系廃液		個	L		
K 難燃性有機廃液		個	L		
L 有害固形廃棄物	① 水 系 廃 液	可燃/不燃	kg		
	② シ ア ン 系	可燃/不燃	kg		
	③ フッ素・リン系	可燃/不燃	kg		
	④ 重 金 属 系	可燃/不燃	kg		
	⑤ 有 機 系	可燃/不燃	kg		
⑥ そ の 他	可燃/不燃	kg			
※センター 受付者職・氏名				※センター 管理番号	

回収場所配置図

手形地区

本道地区



廃液等容器の排出予定数と配付容器の希望数の入力

FORMSのURL

https://forms.office.com/pages/responsepage.aspx?id=KIAwADe-dUS4PuZL821bx8J4B_Viwd9Nih8uRjWlyAtUMVNUT1BBTUhaUVRBVkFCNU1RMVBZODIVTi4u

廃液等容器の排出予定数及び配付容器の希望数の入力

- ・ 当月の廃液等回収日に排出する廃液等容器と配付容器の予定数を入力ください。
- ・ 入力は回収予定日の一週間前までに入力してください。
- ・ 予定数の変更、他問合せがある場合は、担当までご連絡願います。
(連絡先) 施設保全課環境安全センター担当 源本 基洋
内線番号 (手形) 2247
shiho@jmu.akita-u.ac.jp

こんにちは。姓、このフォームを送信すると、所有者に名前とメールアドレスが表示されます。

* 必須

1. 内線番号 (連絡窓口一覧に登録した番号) * ㊦

9999 以下の数値を入力してください

- (1) 「実験用廃液排出研究室等連絡窓口一覧」に登録した内線番号を入力
- (2) 一覧に登録した内線番号が異なる場合は速やかに担当まで連絡する事。

2. 回収場所 ㊦

手形地区内

本道地区内

3. 廃液等容器の排出予定数 (本) * ㊦

値は数値にする必要があります

- (1) 見込みの数を入力してください (予定数、希望数とも)。
- (2) 容器の本数を入力してください。

4. 配付容器の希望数 (本) * ㊦

値は数値にする必要があります

5. 連絡欄 (ご意見、ご要望を記入願います) ㊦

回答を入力してください

- 個別の相談事を入力してください。必要であれば電話、メールで担当まで連絡ください。

送信

各研究室・講座は、廃液等容器の排出予定数と配付容器数の希望数を回収日の一週間前までにFormsへ、左図の通り入力して下さい。

(注意 1)

排出予定数及び配付容器数が大幅に (5缶以上) 増減する場合、
排出予定数は回収日の1日前まで、
配付容器の希望数は回収日の4日前までに
担当にメールで連絡して下さい。

(注意 2)

Formsのアカウントは、
(教職員番号) @m.akita-u.ac.jp
でログインして下さい。

廃液回収が順延となる場合

不測の事態により、廃液回収が順延となる場合があります。
この場合は、全学掲示板（AU-CIS）とメールにより、各研究室・講座へお伝えします。

- 1) 回収の延期日は原則次週金曜日とします。
- 2) 必要な場合は電話でも連絡し、
連絡がつかない場合は担当が回収時間・回収場所で待機します。